



2022.4

《 救急医療の充実に向けて 》

救急室長 小林 大祐

この4月から金沢市立病院救急室長として赴任してまいりました小林大祐と申します。2002年から4年間、当院循環器内科で勤務しており、16年ぶりに戻ってまいりました。前任地は富山県立中央病院で集中治療室に勤務しておりました。救急室長として、少しでもより良い結果がもたらされるよう、力を尽くす所存です。



さて、現在の医療に多大なる影響を及ぼしているのが新型コロナウイルスです。この世界的な災厄に見舞われ数年が経過しましたが、その間新型コロナウイルスが変異を繰り返すたびに、症状の様相が変化しました。重症化することが多かったデルタ株、感染力が増したオミクロン株など、それに伴い提供する医療資源にも変化の波が押し寄せました。初期のマスク供給不足と価格上昇、その後の価格崩壊。コロナワクチンの不足と世界各国の争奪戦。コロナ患者用ベッド数の不足とホテル療養の開始、そして自宅待機と突然死。検査キット不足とみなし陽性。保健所の仕事内容も変化しました。医療崩壊といわれ、命の選別と報道されたこともありました。それからみますと、現状ではどなたであっても等しく医療を提供できているようですが、クラスターの発生を防ぐため、入院される際はPCR検査を全例実施しています。これから先もウイルスに変化が生じ、それに応じた対応が必要になるかと思われます。柔軟性をもちながら、いかに標準的な医療の提供を継続できるかが問われています。

当院は、主に金沢市南部エリアをカバーする病院として救急患者の受け入れを行っておりますが、金沢市の病院として、金沢市消防局と連携し、広く患者を受け入れております。断らない救急を目標とし、新型コロナウイルスを含め、あまねく患者を受け入れる病院の最前線における勤務に、身が引き締まる思いです。なお、少なくとも一年間は循環器医師としても勤務します。循環器診療時は救急室での初療のみならず、急性心筋梗塞患者のカテーテル治療などにも携わってまいりますので、併せてよろしく願い申し上げます。



!b ~ !š!y!€!° ĩ ñ “ ö Ò!š c!^!° ™ r Æ &!• m „

"i ø Ÿ f Ö !• p »!— ³ Þ Ž “ ö !š!“!s!•

"i !c

¶ } Ñ Œ.

2019

2020 4

2020

3

1

2 3

IA interval appendectomy

LIA laparoscopic interval

appendectomy

LIA

LIA

《 副院長新体制について 》

前副院長の退職にともない、新たに2名の副院長が就任いたしました。高田病院事業管理者、松下院長のもと、杉山副院長と3人体制で病院運営に尽力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



神経内科
杉山科長



新 小児科
瀬野科長



新 整形外科
森川科長



《 地域連携室職員紹介 》

地域連携室は、腎臓・リウマチ科 高桑科長を室長、循環器内科 村井科長および坂本副看護部長を副室長とし、医師、看護師、社会福祉士、事務職員と多職種で日々業務にあたっています。今年度新しいメンバーが加わり、より一層の関係機関との連携強化に努めてまいります。

紹介患者さんの受診や開放病床の利用、当院へのご要望など、何でもお気軽に地域連携室にお問い合わせください。なお、入院患者さんの入院支援につきましては、入院支援室が担当いたします。



地域連携室・入院センター

(後列左より) 前田社会福祉士、敷戸事務員、宇梶事務員、
山田事務員、平林看護師、埴生副看護師長
(前列左より) 坂本副室長、高桑室長、村井副室長、谷口看護師長



入院支援室

(後列左より) 濱崎社会福祉士、當間看護師、安島看護師、
山本看護師、山田看護師長
(前列左より) 橋浦社会福祉士、佐藤社会福祉士、坂本室長、
廣田看護師

金沢市立病院 地域連携室

〒921-8105 金沢市平和町3丁目7番3号

TEL:245-2626(直通) FAX:245-2693(直通)

<http://kanazawa-municipal-hosp.com/>